

「出雲市水道事業の災害対応について」(河南エリアの災害)

河南営業所管内の現状と課題

- 佐田町については、大小合わせて10の水道事業を徐々に拡張統合を進め、クリプト対策を機に水源と浄水場を今の形に統合整備している。
 この際に各旧施設間を接続した幹線管路は比較的新しいが、各谷筋や山越えのための送水ポンプ施設・配水池が非常に多くあり、それらを結ぶ管路も含めた更新は大きな課題である。
 又、これらの管は欠かせない管路であるが口径が小さいために優先順位的に不利であり、漏水も多いことから別途の計画を考える必要がある。
- 多伎町については、比較的早く小規模な簡易水道の統合は済んでいたが、漏水実績を元に施工されたため、やや過大な能力となっており、水量には余裕が有る。
 只、統合の際に追加で幹線管路を設置したための複雑化と元の幹線管路の老朽化の解消を一緒に進める必要がある。
 クリプト対策施設以外の殆どの施設は古く、基幹施設の耐震化や更新も課題である。
- 湖陵町については、上水道事業からの給水となっていたため、他の2町に先行して平成23年に統合されている。
 主要施設は昭和55年以降の施工であり、ある程度安心できるが、耐震化の済んでいない施設や耐震性能の無い幹線管路の更新が課題である。
 また、向山配水池からの管路の耐震化もこれからであり、最も遠い湖陵配水池系に余裕のある多伎との連絡管の設置は、双方にとってメリットが有り、将来課題である。
 これらの事情も抱えながら一方で過疎化も進行中であり、各末端ポンプ場の扱いや水源・浄水場の統合も視野に随時見直して、コストの縮減を図るのも共通の課題で有る。

参考)河南営業所管内の稼働水道施設状況

地区名	水源池	浄水場	ポンプ場	配水池等	配管延長	耐震化率	有収率	40年超率
佐田町	6ヶ所	4ヶ所	23ヶ所	36ヶ所	204 Km	2.6 %	72.5 %	11.0 %
多伎町	5ヶ所	3ヶ所	8ヶ所	17ヶ所	95 Km	10.7 %	83.8 %	23.0 %
湖陵町	-	-	7ヶ所	4ヶ所	80 Km	10.6 %	93.5 %	21.0 %
計	11ヶ所	7ヶ所	38ヶ所	57ヶ所	379 Km	8.0 %	83.3 %	18.3 %

主な災害と出来事

H19.10	河南上下水道事務所開設	佐田・多伎から湖陵支所へ統合
H20.1	佐田町雪害停電対応	5日間予備エンジン運転送水・軽油運搬
H21.7	豪雨による朝原水源濁り発生	送水停止
H22.4	佐田町窪田地滑り災害	給水活動・仮送配水管解消H24.4月
H23.4	サービスセンター河南営業所発足	湖陵町を上水事業へ統合
H24.1	朝原浄水場完成	クリプト対策
H24.8	佐田町大呂御幡地滑り災害発生	給水活動・仮幹線配水管解消H26.3月
H25.12	淀原浄水場完成	クリプト対策
H26.3	大呂川上浄水場完成	クリプト対策
H28.1	凍害	漏水調査・給水活動
H28.1	口田儀地すべり災害	給水活動・仮配水管解消H28.7月
H30.1,2	凍害	漏水調査・給水活動
H30.4,7	地震による大呂川上水源濁り発生	送水停止・配水池への給水活動

佐田町大呂御幡地区地すべり災害状況



崩壊状況
 A=2.2ha
 L=200m
 H=130m
 V=40万m³



発生経過

- 7/ 6: 市道法面2カ所崩壊
- 7/28: 崩壊拡大大型土嚢設置
- 7/29: 崩壊さらに拡大通行止
- 8/ 2: 地すべり状況確認
- 8/ 4: 地すべり進行中確認
- 8/ 6: 大規模崩壊発生



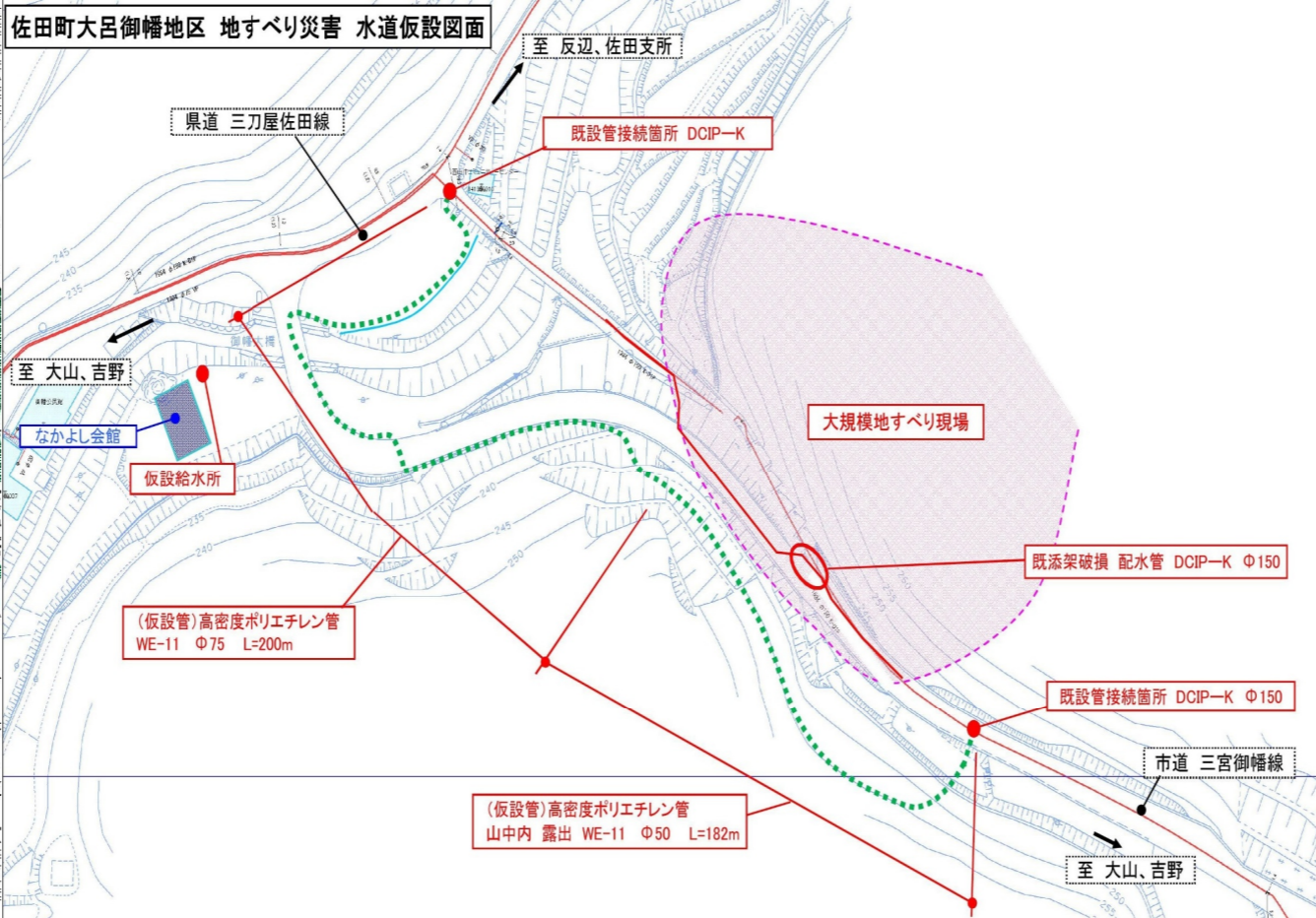
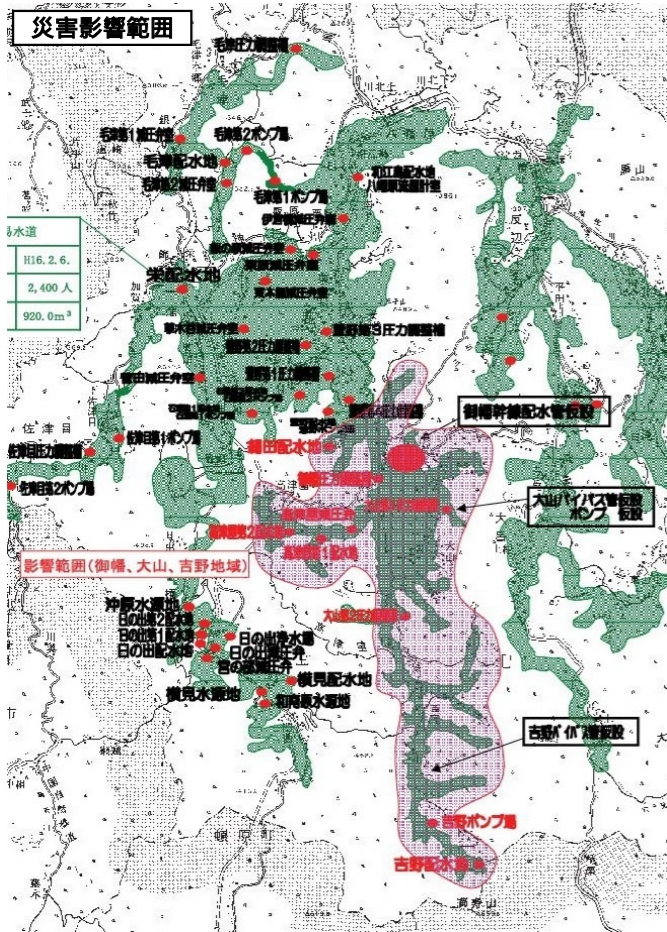
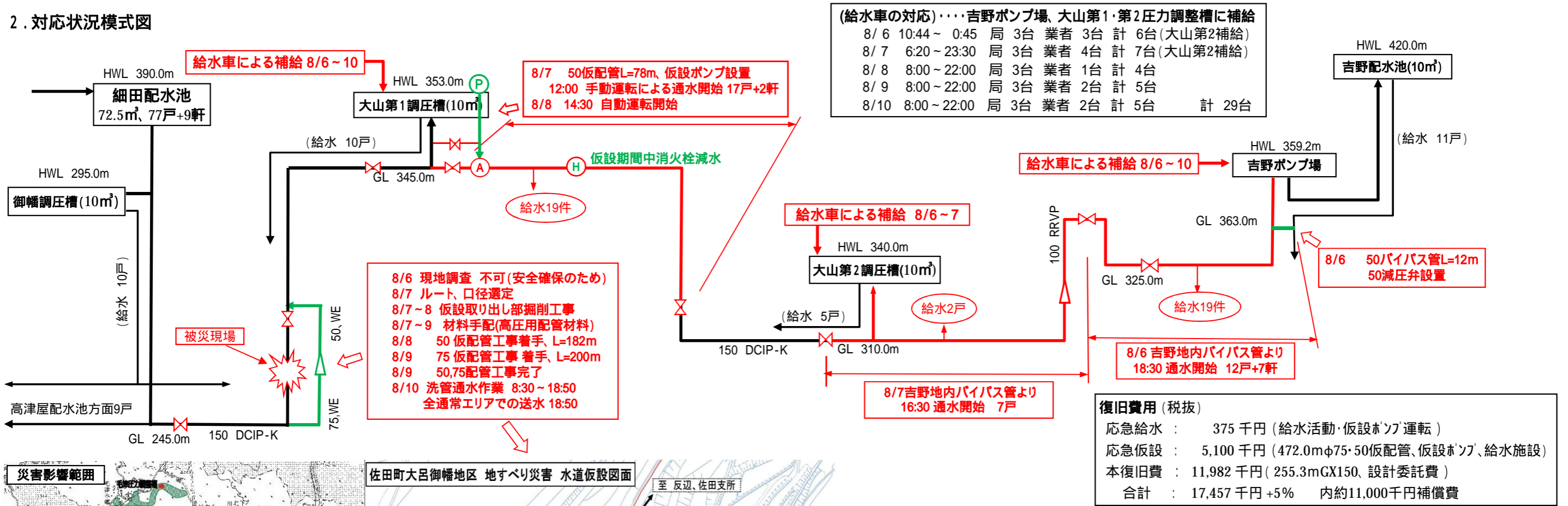
市道三ノ宮御幡線

佐田町大呂御幡地区地すべり災害対応

1. 発生・被害状況

平成24年8月6日(月)AM8時頃、佐田町大呂 御幡大橋付近で、幅200m・斜長130mの地すべりが発生した。
 これにより、市道三ノ宮御幡線に埋設の幹線配水管 150φが破損断水し、土砂埋塞の上、土砂移動が継続しており、即時修理は困難な状況となった。
 断水の影響は、一般世帯31戸(吉野地区 12戸、大山地区 19戸内自主避難1戸)と外に事業所等9軒に及んだ。

2. 対応状況模式図



- 凡 例**
- ⊗ : 仕切弁
 - Ⓐ : 空気弁
 - ⓗ : 消火栓
 - Ⓟ : (仮設)ポンプ
 - ▽ : 口径変化点

